

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月26日

計画の名称	皆野町と長瀬町の水環境保全と施設の長寿命化											
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	皆野・長瀬下水道組合(普通会計分)											
計画の目標	皆野町と長瀬町の生活環境を整備し、清流を維持するとともに、東京湾に流れる荒川の水質向上に努める。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,112	A	1,112	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	平成27年度から平成31年度までに整備面積14.93ヘクタールを整備し下水道整備達成率を88.8%(H27)から92.1%(H31)に増加させる。			
	下水道整備面積 汚水整備済み面積(ha)/事業計画面積(ha)	88%	90%	94%
2	処理場における長寿命化計画に伴う設備更新率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	処理場における長寿命化計画に伴う設備更新率 長寿命化計画に伴う設備更新済みの資産数/長寿命化計画に伴う設備更新予定資産数	0%	57%	100%
3	処理場における地震対策計画策定率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	処理場における地震対策計画策定率 地震対策計画策定済みの処理場数/地震対策計画が必要な処理場数	0%	68%	100%
4	ポンプ場における長寿命化計画に伴う設備更新率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	ポンプ場における長寿命化計画に伴う設備更新率 長寿命化計画に伴う設備更新済みの資産数/長寿命化計画に伴う設備更新予定資産数	0%	46%	100%
5	ポンプ場における地震対策計画策定率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	ポンプ場における地震対策計画策定率 地震対策計画策定済みのポンプ場数/地震対策計画が必要なポンプ場数	0%	30%	100%
6	管路施設における重要な幹線の耐震診断実施率を0%(H27)から100%(H31)に増加させる。			
	管路施設における重要な幹線の耐震診断実施率 耐震診断済みの重要な幹線の延長(km)/耐震診断が必要な重要な幹線の延長(18.844km)	0%	0%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	新設	長瀬処理分区(汚水管)	L = 1100m	長瀬町						41		-	
下水道事業	A07-002	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	新設	皆野第1処理分区(汚水管)	L = 1000m	皆野町						61		-	
下水道事業	A07-003	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	終末処理場	改築	長瀬浄化センター 長寿 命化対策事業	改築更新	長瀬町						557		策定済	
		長瀬浄化センター 長寿命化計画																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-004	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	終末処 理場	改築	長瀬浄化センター 耐震 化対策事業	計画策定・対策工事	長瀬町						80		策定済
		皆野・長瀬下水道組合 下水道総合地震対策計画																	
	A07-005	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	ポンプ 場	改築	長瀬第1中継ポンプ場・ 皆野中継ポンプ場 長寿 命化対策事業	改築更新	長瀬町・皆野町						231		策定済
長瀬第1中継ポンプ場・皆野中継ポンプ場長寿命化計画																			
A07-006	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	ポンプ 場	改築	長瀬第1中継ポンプ場・ 皆野中継ポンプ場 耐震 化対策事業	計画策定・対策工事	長瀬町・皆野町						70		策定済	
	皆野・長瀬下水道組合 下水道総合地震対策計画																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-007	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	改築	管路施設 耐震化対策事業	診断・対策工事	長瀬町・皆野町						22		策定済	
		皆野・長瀬下水道組合 下水道総合地震対策計画																		
	A07-008	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分 )	直接	皆野・長瀬 下水道組合	-	改築	下水道ストックマネジメント計画策定(全域)	計画策定	長瀬町・皆野町						50		-	
											小計						1,112			
											合計						1,112			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事後評価規程に基づき、皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事後評価委員会にて事後評価を実施	令和3年2月
	公表の方法
	組合ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>汚水処理整備済み面積の増加により、生活環境の整備、公共水域の水質保全が図られた。                  処理場、ポンプ場の長寿命化計画による設備更新が進み施設の長寿命化が図られた。                  処理場、ポンプ場の地震対策計画を策定し、対策工事を実施することで、各施設の耐震化を図った。                  管路施設における重要な幹線の耐震診断を行い、地震時の影響を診断することができた。                  全施設のストックマネジメント計画を策定することにより、長期にわたる計画的な設備投資を計画できた。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>平成27年度～平成31年度までの5年間で特定環境保全公共下水道事業を行い、計画的な整備を進めることで、定量的指標はほぼ達成することができた。                  長瀬浄化センター長寿命化において更新できなかった設備に関しては、下水道ストックマネジメント計画で更新の予定。                  今後も、未普及対策や長寿命化対策、総合地震対策を積極的に進めていくとともに、生活環境の整備、水質向上に努める。                  また、指標については、平成30年度から社会資本総合整備計画の重点計画へ移行したため、これ以降は社会資本総合整備計画（重点計画）にて評価を実施する。</p>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標		
	最終目標値	94%	単独事業においても事業の前倒し実施し、路線の整備を進めたため。
	最終実績値	96%	
指標			
2	最終目標値	100%	実施設計時において、当初事業費より大幅な増額が見込まれたため更新に至らなかった。
	最終実績値	98%	
	指標		
3	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
	指標		
4	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
	指標		
5	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
	指標		

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
6	指標	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
7	指標	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%